

令和3年度事業報告

自 令和3年（2021年）4月1日
至 令和4年（2022年）3月31日

令和3年4月22日（木）開催の理事会に於いて承認を得ました事業計画並びに事業活動方針に基づき実施した、主要事業の概況について次の通りご報告いたします。

令和3年度も前年度同様新型コロナウィルスの感染拡大により、法人会の事業運営にも大きな影響が生じました。参加者の安全面や国や地方自治体の要請から、集合での各種事業の開催が困難となり、予定していた会議や事業の中止・延期あるいは実施する場合でも規模の縮小や飲食を伴う懇親の場の中止などの対応を行なわざるを得ない状況となりました。

このような環境下にあっても、年度後半では「公益社団法人」として「納税意識の高揚」と「納税知識の普及」、「社会貢献活動」、「地域企業の支援」、「会員支援と交流促進」を基本方針として徐々に事業を実施して参りました。

なお、令和3年度前半は新型コロナウィルスの影響を受け事業全体として自粛、後半に入るとオミクロン株によるまん延防止等重点措置が発令されたため、諸事業活動や委員会活動に数々の制限があり、本来の事業計画の遂行に障害がありましたこと、ご報告申し上げます。

公益社団法人 熊谷法人会
会長 中澤 実

1. 事業概況

2021年は、1年延期された東京五輪・パラリンピックが無観客の中、7月～8月に開催され、経済はウィズコロナ、アフターコロナの一面をもちらながら動き出した真夏の祭典でした。

このような中、当法人会は法人会の原点である地域に開かれた団体として参加者の安全を第一に考え、ソーシャルディスタンスやマスクの着用、アルコール消毒の徹底、適宜の換気に注意しながら、オンラインによるセミナーや少人数での開催等、工夫しての対応を行ないました。

組織状況は、会員数2,531社と令和2年3月末に比して13社の減少。減少要因の主な理由としては、高齢化による事業の休業・廃業、経費削減・営業不振・会費未納等が退会理由で、コロナ禍での経済情勢を反映しての退会が予想外に少ない結果となりました。

昨年12月3日には、組織・厚生合同委員会を開催、36名の参加者が会員増強と福利厚生制度推進に向けて再確認を行ないました。

社会貢献活動では、公益事業としてのイベント、特別講演会や年末講演会の中止、地域社会貢献事業や寄居町チャリティコンサート、熊谷市・深谷市の産業祭、寄居ふるさとの祭典市での「税の啓蒙活動」等は残念ながら中止となってしまいました。

研修事業に於ましては、新入社員研修では密集を避けるために2部屋に分けて開催。74名と多くの参加者がありました。更に熊谷税務署様のご協力のもと、税務研修会を1回、決算期別税務説明会を4回、業種別税務研修会1回実施、年末調整セミナーを地元税理士会税理士により、熊谷会場・深谷会場の2カ所で実施致しました。

「租税教育事業」では、青年部会・女性部会の役員が講師となり小学校7校7回の租税教室を開催、また女性部会の中心的な事業であります、第7回「税に関する絵はがきコンクール」を実施、2市1町の54校の小学校から参加率100%・応募率95%を記録致しました。

優秀作品33点を表彰、熊谷税務署ロビーに展示し確定申告に来られた方々の目に触れて楽しんで頂きました。将来を担う子供たちが「税の大切さ」や「税の果たす役割」を学習し租税教室の推進に努めました。

税制提言事業では、「税制改正に関するアンケート」を実施し、全法連で取りまとめられた提言を地方自治体の首長、議長さらに地元選出の国会議員に対し税制改正の要請活動を行いました。

コロナの影響を受けて令和2年・3年度と未実施だった女性部会・青年部会・親会の県

外研修会、各支部の県外研修会、簿記講習会、税務研修会等、今年度も全て中止となってしまった事、法人会の理念でもありますように「企業の発展を支援・地域の振興に寄与、国と社会の繁栄に貢献する」となっておりますが、今後は見直しせざるを得ない事業となりました。

引き続き「公益社団法人」として、広く多くの企業から受け入れられる法人会づくりとコロナ禍でのリモート研修やWEB会議の開催が出来るような環境の整備と職員の習熟度のアップを目指すとともに、「税のオピニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体」として、公益性と透明性を高めるため一層の努力を致します。

2. 総務関係

令和3年度の事業方針並びに事業計画に基づき事業を実施して参りましたが、新型コロナウィルスの感染防止の観点から一部の事業は中止を余儀なくされました。

①第9回定期総会開催準備並びに議事運営の統括を実施。

令和3年度は役員改選期で、第一号議案として「任期満了に伴う役員改選の承認に関する件」並びに令和2年度収支決算の承認に関する件の審議を頂き、無事に承認を頂きました。

②「職員就業規則」・「事務処理規程」の一部改正があり、報告事項として報告致しました。

③法人会の財務基盤でもある、会員数につきまして令和3年度は退会が79社に対し新規入会が66社と13社の減に留まり一時期の退会者の増加現象から近年は、減幅は徐々に小さくなって来ている。特に、高齢化による休廻業、経費の見直し等の理由が全体の6割を占め依然新規獲得以上に退会数が上回っている状態である。コロナを理由による退会者は少ないものの、今後引き金になる一つの不安材料である。

④国税電子申告・納税システム（e-Tax）の利用率向上を目指し推進した結果、役員利用率は97.3%と昨年度より3.14%増加。引き続き税務当局や関東信越税理士会のご協力の下、あらゆる機会を通じPRして参りました。

⑤企業の税務コンプライアンス向上を図るため、「自主点検チェックシート」の活用を周知した。

全会員へ「自主点検チェックシート」について、会報208号へ「マンガで分かる法人会自主点検チェックシート」を掲載し周知した。

3. 組織関係

法人会において、「会員増強」と「福利厚生制度の推進」は車の両輪である。

①組織委員会では、9月から12月に「会員増強運動推進期間」として、地元支部長の皆様と事務局により金融機関へ直接訪問し、支店長へ会員勧奨活動をお願い致しました。

②11月、「三者懇談会」を開催。会員増強運動並びにe-Tax利用促進について法人会役員・税理士会・税務当局に再度要請致しました。

③「役員一人一社会員獲得運動1000」による、声かけ運動を継続展開し、役職員、関係者一体となり会員加入勧奨に取り組みました。（金融機関34社、提携生損保5社、役員4社、その他3社）計46社、賛助会員25社、合計で71社の獲得となり、全員が一丸となって会員勧奨を強力に推進した結果であります。

④会員獲得を進める中で、退会者をいかに減らすことができるかが増加要因の重要な理由の一つとなっております。特に、退会理由として「メリットが無い」との声が多く、魅力ある研修事業や税務に関するセミナー、経営に関するセミナー等の実施に心がけ、会員の定着を図って参りました。結果、期末現在会員数2,531社と前年期末比13社減にとどまり、縮小幅にも少しづつ改善の兆しが見えて来ております。（入会66社、退会79社）

(1) 会員数等

(令和4年3月31日現在)

	本 会	青年部会員数	女性部会員数
所管法人数	5,648社	—	—
会員数	2,531社	102名	452名
加入率	44.8%	—	—

(2) 会員支部別状況

(令和4年3月31日現在)

支部名 項目	熊 谷	深 谷	寄 居	妻 沼	岡 部	川 本	花 園	豊 里	合 計	所 管 法 人 数
期首会員数	1,184	565	245	183	118	98	96	55	2,544	5,617
所管法人数	2,765	1,340	486	340	236	174	194	113	5,648	—
期末会員数	1,190	549	243	182	120	96	96	55	2,531	5,648
増 減	6	△16	△2	△1	2	△2	0	0	△13	31
加入率 (%)	43.0	41.0	50.0	53.5	50.8	55.2	49.5	48.7	44.8	—

(3) 会員状況の推移

(令和4年3月31日現在)

年月 項目	平23/12	平24/12	平25/12 (公益社団)	平26/12	平27/12	平28/12	平29/12	平30/12	令元/12	令2/12	令3/12
法 人 数	5,830	5,731	5,635	5,485	5,445	5,467	5,496	5,358	5,578	5,617	5,648
会 員 数	2,939	2,879	2,838	2,754	2,778	2,770	2,731	2,668	2,627	2,572	2,553
加入率 (%)	50.4	50.2	50.4	50.2	51.0	51.1	49.7	49.8	47.1	45.8	45.2

(4) 三者懇談会

11月11日（木）にコロナ対策を万全に行い、税務署、税理士会、当会による三者懇談会を開催致しました。三者懇談会は、当会の会員加入勧奨に対する増強運動、e-Tax利用推進について、ご支援をお願い致しました。

また、懇談会に参加された税理士の先生より、多くの貴重なご意見をお聞きし、熊谷法人会として会員向けに「事業内容の見直しと、法人会に加入して良かった！」等、諸施策について、今後は検討して参りたい。

(5) 組織の拡充・強化のため、組織委員会・厚生委員会を合同として、「組織・厚生合同委員会」を12月3日に開催。36名の委員並びに提携生損保3社の皆様が一堂に会し、令和3年度「会員増強運動」について及び「福利厚生制度推進」について話し合いを行った。

4. 研修関係

研修委員会を3月11日（金）開催、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため参加者の安全面、健康面を考慮し、マスクの着用、アルコール消毒、検温を行ない座席間隔をとりアクリル板で間仕切りを行ない開催致しました。当日は、委員・事務局15名が参加。今後の研修会について、活発な意見交換が実施されました。

今後の研修事業についても、新型コロナウィルス感染症状況を勘案し、インターネットセミナーやWEB会議の導入、会員向けに為になる小冊子の配布等を検討する。

集合参加型研修の実施回数と参加者数

	本会事業		支部事業		部会事業		合 計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
税法・税務	19回	285名	0回	0名	3回	58名	22回	353名
経済・金融	3回	112名	0回	0名	0回	0名	3回	112名
その他	4回	60名	0回	0名	2回	53名	6回	113名
合 計	26回	457名	0回	0名	5回	121名	31回	578名

参考：実施回数・参加者数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数	97回	94回	85回	27回	31回
参加者数	2,931名	2,613名	2,378名	423名	578名

上記集計には「インターネットセミナー」の受講数は含みません。(平均1,000件:アクセス/月)

(1) 研修会の開催

- ①令和3年度の研修会の開催状況は、上記の表通りでコロナ禍の影響を受け開催回数、参加者はコロナ前に比べ少ないが、昨年比徐々に改善傾向が見られて来た。今後は、決算期別税務説明会、業種別税務研修会、新設法人説明会、相続・贈与税務研修会等、熊谷税務署とも相談を行ない、参加者の安全面を考慮し実施回数を増やして行きたい。
- ②各支部で予定していた税務研修会、相続セミナー、簿記講習会、健康体操、春季研修旅行は全て中止。
また、「新入社員セミナー」は各企業の要望があり、コロナウィルス感染防止対策を行ない開催。74名の参加者があり、2部屋に分けて半日研修として開催。また、フォローアップセミナーは26名の参加者があり、2時間コースとして実施。
- ③令和3年度は新型コロナウィルス感染症対策を行ない、経営特別セミナーとして、下記のセミナーを対面形式、オンラインで開催致しました。
 - ・8/26(木)に「中堅・若手社員の営業力強化セミナー」講師:和田 勉氏
 - ・10/21(木)に「人が育つ“任せる力”の身に着け方」講師:佐藤 康二氏
熊谷商工会議所との共催で事業計画書通り実施致しました。
- ④年末調整セミナーは、関東信越税理士会熊谷支部の税理士により、熊谷市・深谷市の2会場で実施。2日間で130名と多くの参加者がありました。
- ⑤パソコン研修を熊谷会場と深谷会場の2会場で開催。計6回開催予定でしたが、後半3回は新型コロナ緊急事態宣言が発出された為、急遽中止となりました。
- ⑥税務相談会は、令和3年度予定通り7回開催。(参加者:延べ18名)
(講師:関東信越税理士会熊谷支部 安原 宣彦税理士)

(2) その他の研修活動

- ①DVDの貸し出しは、社内研修・従業員の自己啓発等にご活用頂きました。特に、令和3年度は110本の貸し出しの申し出を行い、社内研修用として各企業より多くの要望がありました。(事務局にて保存本数計425本)
- ②無料のインターネットセミナー(オンデマンド研修)の利用も年々増加しており、アクセス数でも1ヶ月1,000件を超え、会員ログイン数も100件を超えており、「いながらしての研修」への関心度の現れと思われます。現在、600タイトル以上のセミナーが無料で受講出来ます。
- ③研修内容の充実とWebによるオンラインの配信について、会報等で周知徹底を図った。
- ④高齢化社会に対応した年金セミナーを2月に予定致しましたが、新型コロナウィルス感染拡大に伴い、中止と致しました。

5. 青年部会

- ①会員増強運動では、青年部会員のネット網をフルに發揮し、1/31現在5名の若手経営者が入会。12名が定年となり7名減となり、3/31現在の青年部会員数は102名と多くの会員数を維持致しました。
- ②今回の「財政健全化のための健康経営プロジェクト」を浸透・普及させるため、青年部会の新たな柱として昨年度より活動に取り組んでいる「健康経営宣言書」の登録について、新青年部会長を中心に大同生命保険㈱とタイアップして取り組んで来た。「健康経営宣言書」提出企業5社目標に対し、10社の提出実績となった。
- ③8月に実施している「りそなキッズマネーアカデミー」は、新型コロナウィルス感染症

拡大防止の観点から中止。

- ④北部ブロック青年部会四法人会合同研修会は中止。（幹事：行田法人会）
- ⑤「租税教室」に於いては、男衾小、桜沢小、鉢形小、用土小、寄居小、熊谷東小、榛沢小の7校に於いて、女性部会・青年部会の皆様に講師並びに講師補助としてご協力を頂きました。
- ⑥青年部会「県外研修会」は、会員相互の親睦と異業種交流や他企業との情報交換の場とし大変有意義なものとして毎年開催。今年度は2月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止から中止と致しました。
- ⑦「垂統塾」への参加。8名参加し3名が終了。後日、埼玉県法人会連合会より修了書が直接本人へ郵送にて贈呈されました。
今年度は、齋藤戦略会計事務所代表齋藤安正氏による「コロナ禍における中小企業の資金戦略」と題して、開催致しました。
- ⑧全国青年の集い「佐賀大会」は新型コロナウイルス感染拡大の観点から現地参加を500名に限定。オンラインを活用しての参加となり、当会からは9名が参加視聴致しました。
11/25（木）～11/26（金）
 - ・大会スローガン：「維新のちから 輝ける大切な未来へ」コンセプト：「つなぐ」
 - ・活動の3本柱：「租税教育・部会員増強・財政健全化のための健康経営プロジェクト」

6. 女性部会

- ①今年度7回目となる『税に関する絵はがきコンクール』を実施。熊谷市・深谷市・寄居町の各教育長様より「コロナ禍だから子供たちに夢を与えて頂きたい」旨、ご支援・ご理解を頂き、本事業には熊谷市、深谷市、寄居町の小学生2,820名の児童にご参加頂きました。応募率も95.0%（昨年度93.5%）となり、1月20日（木）審査会に於いて、優秀作品33点を選定致しました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止から「熊谷文化創造館月のホール」での表彰式を中止、表彰状・副賞・参加賞は事務局より各学校校長先生へ直接手渡し致しました。
- ②女性部会「県外視察研修会」は開催中止。
- ③県北四法人会合同の研修会、昨年度より延期となり熊谷法人会が幹事法人会。
昨年延期になった「県北四法人会合同の研修会」、秋に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染の終息が見えず、さらに3回目の「緊急事態措置」が延長され、四法人会の女性部会長検討の結果、関係者の安全面・健康面を考慮し、中止となりました。
- ④女性部会・青年部会による「租税教室」を下記の通り実施致しました。

○令和3年度「租税教室」実施校

開催日	学校名	開始時間	終了時間	児童数
3.6.17（木）	寄居町立男衾小学校	10:40	11:25	63名
3.6.18（金）	寄居町立桜沢小学校	10:40	11:25	23名
3.7.1（木）	寄居町立鉢形小学校	14:20	15:05	30名
3.12.7（火）	寄居町立用土小学校	10:30	11:15	29名
3.12.16（木）	熊谷市立熊谷東小学校	11:35	12:20	97名
4.1.19（水）	深谷市立榛沢小学校	13:35	14:20	40名
4.1.28（金）	寄居町立寄居小学校	13:45	14:30	53名
合計	7校	—	—	335名

- ⑤青色申告会連合会、納税貯蓄組合連合会、熊谷法人会の各女性部会の部会長による、三団体女性部会合同打ち合わせ会は、関係者の健康面・安全面を考慮し、中止と致しました。
- ⑥女性部会の研修事業の一つ、11月開催予定の「租税教室」・12月開催予定の「年末講演会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止から中止と致しました。
- ⑦熊谷支部で毎年実施している、「健康体操」は新型コロナウイルス感染症拡大の為、中止。

- ⑧全国女性フォーラム「新潟大会」を開催。
会 場：朱鷺メッセ
参加者：川野辺部会長、栗原副部会長参加。
キャッチフレーズ：〔新しい形、新潟から。〕
⑨その他各支部に於いて、実施された事業については、別紙をご参照下さい。

7. 税制関係

(1) 税制改正要望活動

- ①2021年度「税制改正要望事項」アンケートについて、税制委員会で各役員の皆様からのアンケート結果を取りまとめ、当会として要望事項を全法連、県法連に提出致しました。
役員回収率67.5%達成。(QRコードによるアンケート実施)
- ②第37回法人会全国大会（岩手大会）は、新型コロナウィルス感染症拡大に伴い「対面方式」とリモートによる「WEB会議」のハイブリッド方式で岩手会場と東京会場の2か所を繋げて実施。熊谷法人会ではリモートにて参加致しました。
- ③税制改正要望提言が決議され、その提言書を12月2日（水）に当会地区選出国会議員全員、熊谷市長、熊谷市議会議長、深谷市長、寄居町長に対し、全国法人会・当会会員の総意として持参提言いたしました。

8. 社会貢献関係

(1) 税の啓発活動

11/11～11/17の「税を考える週間」に於いて、熊谷税務署長春日署長による「署長講演」を開催。特別講演会は、新型コロナウィルス感染症拡大による参加者の安全面・健康面を考慮し中止。

(2) 社会貢献活動

- ①当会では、管内各支部内で催される「復興チャリティコンサート」・「ふるさとの祭典市」や「産業祭」等に協賛し、地域に密着した活動を通じ、地域社会貢献に積極的に取り組んでおりますが、令和3年度も新型コロナの影響で中止。
- ②女性部会が中心となって行っているエコキャップ回収事業は、各支部の協力によりキャップ回収累計が12月末現在、3,160,255個となり、医療支援・社会貢献活動としてNPO法人エコキャップ推進協会へ寄贈させて頂いております。
- ③深谷支部女性部会では、深谷市社会福祉協議会へ下記物品を寄贈致しました。
- ・9月27日（月）レトルト食料品、洗剤等日用品（1,344個）
 - ・11月2日（火）マスク、タオル等（1,810枚）

9. 広報関係

広報委員会も新型コロナウィルス感染症拡大を考慮し、参加者の安全面・健康面を考慮し少人数として計6回開催。

(1) 広報誌「法人くまがや」の発行

広報誌「法人くまがや」	No.203号（令和3年5月号）～No.208号（令和4年3月号）
全国法人会総連合 機関紙「ほうじん」	年間4回発行「法人くまがや」と同封して送付

- ①内容も当局の税制改正の主要事項をはじめ、TAX・Q&A、県税事務所からのお知らせ等税に関する情報や、地元税理士による寄稿及び各支部の活動状況や研修・行事等フレッシュな情報提供を頂きながら充実した内容に努めて参りました。
201号発行分より、紙面も見やすい全面カラー版と致しました。
- ②3月号では、「第7回税に関する絵はがきコンクール」での入賞作品の全作品をカラー版で掲載し、児童の皆さんの栄誉を讃えました。

10. 厚生関係

9月に実施予定の厚生委員会・福利厚生制度推進連絡協議会は、新型コロナウィルス感染症拡大に伴い会員の安全面・健康面を考慮し、「書面開催」と致しました。

①福利厚生制度「想いをつないで50年“会員企業を守りたい”」キャンペーンを推進。

コロナ禍で、提携生損保3社の推進員と経営者が直接会う機会が少ない中、事務局として役員の皆様に事前にアポイントをとり、面談機会を頂いた。

また、会員向けに会報へ啓発記事、チラシ等を封入し商品のPRに努めた。

・大同生命は、法人会福利厚生制度「想いをつないで50年“会員企業を守りたい”」キャンペーンの必成に向けて「大型保障制度」を推進。役員加入率の70%以上獲得に向けて大同生命と法人会事務局で情報交換を行い推進した。青年部会員には、「健康経営宣言書」の提出及び「ウォーキングキャンペーン」をセットに福利厚生制度を推進した。

また、女性部会員の加入率向上と新規制度加入を推進した。

・AIGは、ビジネスガードの役員加入率の向上、加入促進を図った。

・アフラックは、特に会員企業の従業員を対象に「転入促進」を積極的に推進。また、役員企業に対する加入率の向上、新契約保険料・転入保険料の新規加入企業獲得数の推進強化を図った。

②令和3年1月～3月の期間、各支部長より紹介運動を展開、大同生命保険㈱と事務局同行訪問により、福利厚生制度「経営者大型総合保障制度」を説明。

③平成23年度より実施しております「成人病予防検診事業」については、令和3年度は3日間で52名が受診し、事務取扱手数料は約153千円となり、着実に成長している事業となっております。令和4年度についても、広報チラシを作成し会報に折り込み広報活動を積極的に行い、会員企業の受診機会を提供し、健康経営の一助となりますよう情宣致したい。

④提携生損保3社の“企業を守る福利厚生制度”「自主点検チェックシート」の活用。

⑤熊谷総合病院の「PET-CT検診」について、会報への折り込みチラシを封入。会員利用の促進を図る。

以下に提携生損保会社の実績をご報告致します。

経営者大型総合保障制度（大同生命保険株式会社）

大型総合保障制度加入状況			令和3年度 新規加入企業	
項目	令和3年3月末	令和4年3月末		
会員数	2,545社	2,531社	目標16社	
加入企業数	397社	407社	実績20社	
加入率	15.5%	16.1%	達成率125%	

ビジネスガード（AIG損害保険株式会社）

項目	令和3年3月末	目標	実績	目標達成率	令和4年3月末
加入企業数	185社	259社	193社	74.5%	193社
新規法人	35社	36社	16社	44.4%	44.40%

がん保険（アフラック生命保険株式会社）

項目	令和3年3月末	目標	実績	目標達成率	令和3年3月末
加入企業数	447社	44社	37社	84.6%	438社
加入件数	1,377件	—件	—件	—%	1,328件
加入率	54.12%	—	—	—	%